

【ロシア】中国との液化天然ガスの共同開発に関する議定書の批准

海外立法情報課 堀田 主

* 2026年2月20日、北極圏における中国との液化天然ガスの共同開発に関する議定書の批准を定めた連邦法が成立した。

1 背景

シベリア北西部の北極圏に位置するヤマル半島は、ロシア最大級の天然ガス埋蔵量を誇ることで知られる。2010年10月、ロシア連邦政府は、ヤマル半島における液化天然ガス (liquefied natural gas: LNG) の生産に向けた包括的な計画を策定した¹。2017年12月、ヤマル半島で最初のLNG生産が行われたことを受け、同地を訪問したプーチン (Vladimir Putin) 大統領は「北極圏開発における最大のステップ」と表現した²。

一方でロシアは2014年以降、クリミア半島の併合等の理由により、欧米諸国から経済制裁を課されている。その結果、多額の投資や設備の供給等を通じて、ヤマル半島におけるLNG生産に大きな役割を果たしたのが中国である³。2014年1月に締結された「ヤマルLNGプロジェクトの実施におけるロシア連邦政府と中華人民共和国政府の間の協力に関する協定」(以下「2014年協定」)⁴は、両国間の「投資協力のための好ましい条件を創出すること」を目的として、①南タンバイ・ガスコンデンセート田⁵の探査及び開発、②天然ガスの生産等のための複合施設の建設及び操業、③サベッタ港⁶における港湾インフラの建設及び操業、④生産されたLNG及びガスコンデンセートの販売等の実施を定めた(2014年協定第1条)。ロシア側には、ヤマル半島で生産されたLNGに課される鉱物採掘税⁷を、累積生産量が2500億立方メートルに達するまで0%とする措置(ただし、適用期間はガスの生産が開始される月の初日から12年を超えない。)や、LNGの輸出関税を0%とする措置等の実施が規定された(第3条第1.1項)。中国側には、LNG生産の実施を担うヤマルLNG社の株式の20%を、同国の国有企業である「中国石油天然気集団公司」が保有することに加えて、少なくとも年間300万トンのLNGを確保すること等が規定された(第3条第1.2項)。同協定の有効期限については、2045年12月31日と

* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2026年4月7日である。

¹ Распоряжение Правительства РФ от 11 октября 2010 г. № 1713-р “О комплексном плане по развитию производства сжиженного природного газа на полуострове Ямал.” ГАРАНТ website <<https://www.garant.ru/products/ipo/prime/doc/2073238/>>

² “Путин на «Ямал СПГ»: «Это самый крупный шаг в освоении Арктики,» РБК, 09.12.2017. <<https://t.rbc.ru/tyumen/08/12/2017/5a2aa90b9a79477f8164adb8>>

³ Афанасьев С.Н., Фадеев А.М. Российско-китайское технологическое партнерство в Арктике на примере проекта «Ямал СПГ» // Арктика и инновации. 2025. Том 3, № 1. С. 33-41. <<https://doi.org/10.21443/3034-1434-2025-3-1-33-41>>

⁴ “Соглашение между Правительством Российской Федерации и Правительством Китайской Народной Республики о сотрудничестве в сфере реализации проекта «Ямал СПГ».” Министерство иностранных дел Российской Федерации website <https://www.mid.ru/ru/foreign_policy/international_contracts/international_contracts/2_contract/44217/>

⁵ 南タンバイ・ガスコンデンセート田とは、ヤマル半島の北東岸に位置する大規模ガス田である。なお、ガスコンデンセートとは、常温・常圧下で液体状の軽質炭化水素を指す。“Южно-Тамбейское газоконденсатное месторождение.” Велесстрой website <<https://www.velsstroy.com/projects/yuzhno-tambeyskoe-gazokondensatnoe-mestorozhdenie/>>

⁶ サベッタ港とは、ヤマル半島東岸のオビ湾沿いに位置する「ヤマルLNG」プロジェクトの主要拠点である。“«Дочка» НОВАТЭК внесла коррективы в новый масштабный проект на Ямале,» URA.RU, 16.10.2025. <<https://ura.news/news/1053011859>>

⁷ ロシアにおける鉱物採掘税とは、石油、ガス、金属鉱物等を採取する事業者に課される税金を指す。

定められた（第6条第2項）。

2014年協定第5条は、同協定の改正方法について、中ロ両国が別途作成する議定書によって実施すると定めている。実際に、2014年協定の改正は、2015年12月に制定された「ヤマルLNGプロジェクトの実施におけるロシア連邦政府と中華人民共和国政府の間の協力に関する協定のための議定書」（以下「2015年議定書」）によって行われた⁸。2015年議定書は、一帯一路構想の実現に向けて諸外国のインフラ開発に投融資を行う中国の国家投資ファンド「シルクロード基金」が、ヤマルLNG社の株式の9.9%を、前述の20%分とは別に取得すること等を定めている（2015年議定書第2条）。2024年12月、約9年ぶりに「ヤマルLNG」をめぐる協定に関する中ロ間の議定書が作成された（以下「2024年議定書」）。その批准のため、2026年2月20日、連邦法第27号「ヤマルLNGプロジェクトの実施におけるロシア連邦政府と中華人民共和国政府の間の協力に関する協定の特定条項の適用に関する議定書の批准及び液化天然ガス生産開発のための共同プロジェクトの実施に関する追加条件について」が制定された⁹。

2 連邦法第27号の概要

連邦法第27号によって批准された2024年議定書及び「共同プロジェクトの実施に関する追加条件」は、2026年4月現在、一般に公開されていない。ロシア連邦議会下院の全権代表であるシネンコ（Alexander Sinenko）氏によると、2024年議定書は、LNGの生産・開発に関する中ロの共同プロジェクトの実施に向けた「追加の有利な条件」を規定するものとされる¹⁰。2026年2月26日付けの『ロシア新聞』に掲載された有識者の発言によると、2024年議定書には、中国からの資本誘致を更に促進するため、融資や合弁事業の設立等に関する規定が含まれるとされる。なお、同紙は現在公開されていない「追加条件」に関して、共同プロジェクトの実施状況等から、鉱物採掘税、固定資産税及び付加価値税の免除という可能性を指摘している¹¹。

3 今後の見通し

地理的条件により、ヤマル半島で生産されるLNGの大部分は、欧州諸国に輸出されている。しかし、欧州連合（EU）は、2026年4月25日以降の段階的なロシア産LNGの禁輸措置を決定している。有識者によると、ヤマル半島からアジア方面へのLNGの輸出について、冬季の北極海航路の利用が不可能であること、中東危機に伴い輸送コストが増大していること等を踏まえ、欧州諸国の輸入量を代替するまで拡大することは難しいと見られている¹²。

⁸ “Протокол к Соглашению между Правительством Российской Федерации и Правительством Китайской Народной Республики о сотрудничестве в сфере реализации проекта «Ямал СПГ».” Министерство иностранных дел Российской Федерации website <https://www.mid.ru/foreign_policy/international_contracts/international_contracts/2_contract/43753/>

⁹ Федеральный закон от 20.02.2026 № 27-ФЗ “О ратификации Протокола о применении отдельных положений Соглашения между Правительством Российской Федерации и Правительством Китайской Народной Республики о сотрудничестве в сфере реализации проекта “Ямал СПГ” и о дополнительных условиях реализации совместных проектов по развитию производства сжиженного природного газа.” <<http://publication.pravo.gov.ru/document/0001202602200048>>

¹⁰ “Дума ратифицировала протокол о допусловиях сотрудничества с КНР по СПГ-проектам,” *Интерфакс*, 17.02.2026. <<https://www.interfax.ru/business/1073240>>

¹¹ “Ратифицирован протокол к соглашению с Китаем по СПГ-проектам: Что это даст Москве и Пекину,” *Российская газета*, 25.02.2026. <<https://rg.ru/2026/02/25/chtoby-suda-hodili.html>>

¹² “Russia’s options to reroute LNG from Europe limited by high shipping costs, contract structure,” *Reuters*, 27.03.2026. <<https://www.reuters.com/business/energy/russias-options-reroute-lng-europe-limited-by-high-shipping-costs-contract-2026-03-27/>>